



今月の写真：紅葉(下郷町)

南会津もあつという間に肌寒くなり、山々の木々も赤く頬を染めだしました。寒暖差が激しい当地方は、元来色づきがよいことで有名ですが、今年は台風の被害も少なく、葉が多い状態での紅葉となりました。

みなさんも、この素晴らしい紅葉を愛で、南会津の自然を楽しんではいかがでしょうか。

今月の内容：

●今月のトピックス

- ・快挙!! 第50回福島県農業賞、南会津管内の3件が受賞!!
- ・厳かに猷穀米抜穂祭が執り行われました。
- ・農村の資源は地域で守るぞ!!
- ・南会津の特産は??
～米飯給食モニター校実践事業 田島小学校～
- ・田島高校生が農業生産現場を視察研修!!
- ・農業普及指導活動の推進に向け、現地検討会を開催!!
- ・田んぼの生き物ゲットだぜ!!

●特集

- ・福島県の農林業振興計画について(第1回)

平成21年10月26日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

快挙!! 第50回福島県農業賞、南会津管内の3件が受賞!!



表彰式後の受賞者のみなさん。おめでとうございます!

福島県農業賞は、先駆的な技術の導入による経営改善や女性の力を生かした取り組み等、独自の工夫をしている方々を対象として、毎年表彰しているものです。その記念すべき第50回表彰において、従来の農業十傑のほか、特別賞の「特別功労賞」と「元気なふくしま農業賞」が設置され、南会津管内からは、3件が表彰される快挙となりました。

室井唯男・京子夫妻が受賞した「農業賞経営改善部門」は、先駆的な方法により、農業経営を向上させる

取組みを行っている方々を表彰するものです。

夫妻は、自ら生産したソバ、もち米等を加工し、夫妻で経営する「農家れすとらん 蕎屋」で販売することで所得向上や経営改善を図っており、中山間地域という不利な条件を克服して地域の観光振興にも結びつける取組みが高く評価されました。

有限会社角田ミルクプラントが受賞した「特別功労賞」は、過去の農業賞受賞者(第31回～40回)の中で、受賞後も引き続き精力的に活動し、各々の経営の向上に努めた方々を表彰するものです。

同社は、受賞当時(平成8年)の「酪農専業経営」から、受精卵移植技術を生かした繁殖和牛の導入拡大により、現在「乳肉複合経営」として安定した経営を実施していることが高く評価されました。また、自社製造販売している「角田牧場牛乳」を地元小学校に供給するなど、地産地消にも貢献しています。

J A会津みなみアスパラガス部会が受賞した「元気なふくしま農業賞」は、本県の「ふくしま食・農再生戦略」での取り組みに合致し、創意工夫に富んだ取組みを行っている方々を表彰するものです。

部会は、部会員の生産技術の改善や優良品種の積極的な導入により生産基盤の強化を図り、また、「3色アスパラガス」を産地の看板商品として首都圏に売り込みをかける等の販売強化に努めていることが高く評価されました。

受賞された方々の益々のご活躍をお祈りいたします。

(企画部・農業振興普及部)

ぬきほ 厳かに献穀米拔穂祭が執り行われました

平成21年度の新嘗祭献穀者である下郷町中妻の佐藤重夫さんの水田(10a、品種:ひとめぼれ)で、去る9月28日に献穀米拔穂祭が厳かに行われました。田出宇賀神社宮司により清祇いの神事が執り行われ、拔穂乃儀では、かすり姿の5人の刈女が稲を刈りました。



大事に育てたお米を召し上がれ

また、佐藤さんの同級生3名により、地元につながる大黒の舞も行われました。神事の後に献穀者、下郷町湯田町長をはじめとする来賓者、刈女、地元の参加者等約40名により手刈り作業を行い、はせ掛けを行いました。

献穀米は5月23日に御田植祭を行い、丹誠込めて管理され、収穫に至りました。今年は7月以降の日照不足、8月下旬の低温による影響からいもち病、不稔等の障害の発生が懸念されましたが、適切な病害虫防除、肥培管理、水管理により発生は見られませんでした。

今後は適切な収穫・乾燥・調製を行い、10月28日に皇居で行われる献穀献納式で精米5合を献納し、12月中旬に佐藤知事に報告する予定です。

(農業振興普及部)

農村の資源は地域で守るぞ!!

下郷町音金区民により「農地・水・環境保全向上対策」の勉強会が去る9月6日に開かれました。

この対策は、農業者の減少や高齢化などにより、維持管理できない田畑や道水路が増え、自然豊かな農村風景が失われつつある現状を受け、農業者だけでなく地域ぐるみで組織をつくり、地域の資源や環境を守ろうという取り組みです。

勉強会に先立ち、農業用排水路でマスつかみが行われ、子どもから大人まで歓声をあげながら夢中で追いかけていました。



地域住民が一体となり楽しみました

その後の勉強会では、子どもたちが中心となり「水の大切さ」について学習し、一人一人が自然や環境を守っていくことの大切さを学び

ました。

今後、この共同活動が地域に根ざしたものとなり、農村資源・農村環境が守られていくことが期待されます。(農村整備部)

南会津の特産は?? ~米飯給食モニター校実践事業 田島小学校~

みんな、南会津の特産物って、何かわかるかな? 『み』 『アスパラガス!』 『トマト!』

県産農林水産物の一層の消費拡大と米飯給食の推進を図ることを目的として、昨年度から県内3方部において実施している「生産者との交流授業」



作物の生長について学びました

が、今年度、南会津町立田島小学校で実施されています。

第1回目は、9月8日に行われ、講師には、アスパラガス生産者の星レエ子さんと南郷トマト生産者の渡部茂さんをお迎えしました。お二人は、児童に分かりやすいよう、それぞれの作物が育つ様子をスライドにしながらお話をしていただきました。お話の中では、実際に3色アスパラガスが出てきたり、3択クイズや〇×クイズ、南郷トマトの試食など盛りだくさんの内容でした。

『白いアスパラがあるくらいだから、トマトも光を与えなかったら白いものが出来るの?』、『なぜ、農業を始めたのですか?』など、児童のみなさんからは活発な質問もあり、最後には、『今までトマトが食べられなかったけど、南郷トマトは美味しい。』という声がありました。



栄養のバランスが良い米飯給食です

授業の後は、生産者の皆さんと一緒に給食の試食です。

湯田としみ先生から当日のメニュー紹介があり、材料のほとんどが県内産、副菜と汁物に使

われた野菜に関しては100%南会津産でした。

次回は12月8日に行われます。さて、どんな料理が出てくるか楽しみです。

(農業振興普及部)

田島高校生が農業生産現場を視察研修!!

農業高校等連携促進事業の一環として、9月16日、県立田島高校環境科学コース2年生(24名参加)を対象に、地域の先進的な生産者の取り組みや農業への理解を深める研修を下郷町で開催しました。



広大なブロッコリー畑にみんなビックリ!!

まず、音金地区で耕作放棄地を再生し、大規模野菜経営を行っている有限会社南会津高原ファームで研修しました。本宮社長より、下郷町で大規模農業に取り組んだ経緯や会社の概要について説明を受けた後、ブロッコリー、高菜の栽培状況を視察しました。生徒からは、「冬期間の経営はどうしているのか?」「広大な畑で雑草の管理はどうしているのか?」等、的を射た質問が出されました。

次に、同じ音金地区の星由夫さんのリンゴ園で研修をしました。星さんは高冷地の気候を利用したリンゴ経営を行っています。生徒には、収穫のピークを迎えた「つがる」を味わってもらい、食味の良さを確認してもらいました。

さらに、ヤギを利用したサル被害防止実証ほの説明を受けた後、リンゴの収穫や葉摘みによる着色管理作業を実際に体験しました。生徒全員、リンゴの管理作業は初めてでしたが、積極的に脚立に上って作業をしていました。

わずか半日の研修でしたが、今回参加した生徒の中から、地域農業の担い手が一人でも多く誕生することを期待しています。

(農業振興普及部)



リンゴの着色管理(葉摘み)を体験しました

農業普及指導活動の推進に向け、 現地検討会を開催!!

去る9月15日に、南会津地域農業普及推進懇談会並びに農業普及推進活動外部評価懇談会を開催しました。これは、当農業振興普及部の農業普及指導活動に対し、農業普及推進懇談会のメンバーである町村、関係団体の代表、農業者等、さらに当事務所が委嘱している外部評価懇談会委員から、指摘・助言等をいただき、業務を効果的かつ効率的に展開することを目的として開催しています。



リンゴ園での鳥獣害対策を現地検討

当日は下郷町を会場に20名が参加し、①「農家れすとらん蕎屋」による地産地消の農業経営、②南倉沢加工部会並びに金子牧場による農産物加工及び直売の取り組み、③音金の星由夫氏のリンゴ畑におけるヤギ等を活用した鳥獣害防止の取り組みについて現地検討を行いました。

年度末には、2回目の懇談会を開催し、本年度の活動成果と次年度の活動計画について、検討いただく予定です。
(農業振興普及部)

田んぼの生き物ゲットだぜ!!

南会津町立南郷第二小学校の5年生児童6名により「田んぼの生き物調査」が行われました。

初めに、今年5月に作ったビオトープ池に入り、カエルやドジョウ等の生き物を捕まえました。

自分らがつくった池にたくさん生き物が棲んでいることに、一様にビックリしていました。

次に河川排水付近の調査をしました。



田んぼは色々な生き物のすみかです

「アクアマリンふくしま」の職員から魚の取り方の指導を受けると徐々に上達し、カジカ等の魚をゲットしました。

子どもたちは、捕まえた生き物の名前や生態についての説明を真剣に聞き、身近に様々な生き物が生息していることを知る良い機会となったようです。

(農村整備部)

福島県の農林水産業振興計画について(第1回)

福島県では、21世紀初頭に目指すべき姿として、平成13(2001)～平成22(2010)年度を計画期間とする長期総合計画「うつくしま21」の農林水産業の部門別計画である4つの計画を定め、施策を展開してきました。(図1 体系図参照)

しかし、社会経済情勢が大きく変化している現代において、時代に即した振興施策を進めていく必要が生じたことから、現計画の期間終了を待たず、平成22年度を初年度とする新たな振興計画を策定することとしました。

現在、県では関係する審議会や農林水産関係団体等の意見を聴きながら、新たな振興計画の策定作業を進めており、今号から数回にわたり、農林水産振興計画についてご紹介します。

伺いました。これらを踏まえ、県では次期振興計画の策定方針を次のとおりとしました。

- (1) 子どもたちが親の世代となる将来を展望しながら、平成22(2010)年度を初年度とし、平成26(2014)年度を目標年度とする5か年計画とします。
- (2) 世界的な食料・資源問題や環境問題への対応、安全・安心な農林水産物の提供、地域の活性化など、共通する課題の解決のため、農林水産業が一体化した振興計画とします。

今回は、総点検結果ほかについてご報告します。

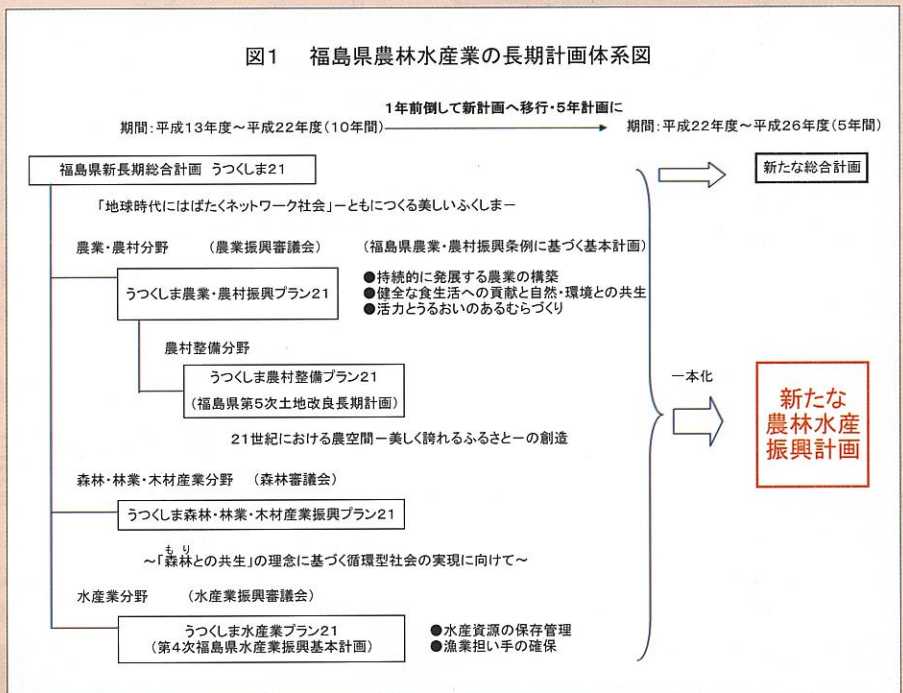
現在の振興計画の概要について

現在の振興計画は、図1に示すとおり、4つの計画を策定し、農林水産業の振興を図ってきました。

この計画は、21世紀初めての長期計画で、新たな時代に向かって目指すべき方向を示したものであり、理想像を目指した高い目標を掲げました。

新たな農林水産振興計画について

平成21年3月に現在の振興計画について、進捗状況、今後の課題や方向性等を総点検し、関係する審議会に報告して意見を



農林事務所からお知らせ

第7回うつくしま育樹祭参加者募集

日時：平成21年11月14日(土)
10:00～14:15

場所：白河市・東風の台運動公園ほか
内容：育樹作業、木工体験、自然観察
申込み先：森林林業部林業課(0241-62-5375)
(森林林業部)

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256
電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

ふるさとの心でつながる、食と農

ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

PRINTED WITH SOY INK™ この広報誌はSOY(大豆)インキを使用しています。